

まちづくり緊急アンケート結果

～「住んでよし、訪ねてよしのまち」の実現にむけて～

皆さんに納めていただいた税金を活用して、安全で豊かな暮らしを提供することが行政サービスの大前提。一部の意見だけが尊重されることがあってはなりません。

まちづくりの将来像を見据え、特に公共施設のあり方や優先すべき政策についてのご意見を調査するため、20歳以上の町民の方から「まちづくり緊急アンケート」にご協力いただきました。

アンケート結果は、今後のまちづくりの方向性を決定するための参考資料として活用予定です。

なお、結果の詳細については町ホームページに公表しますのでご覧ください。

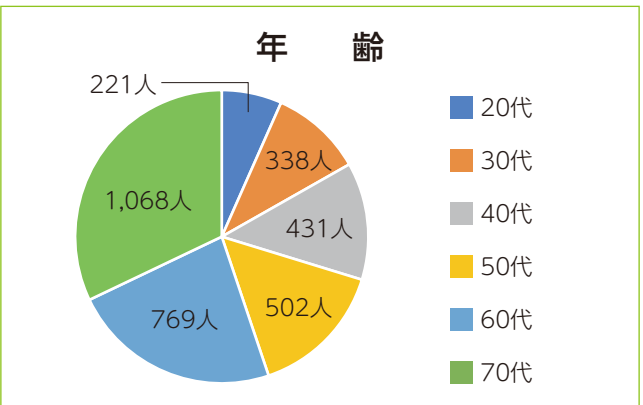
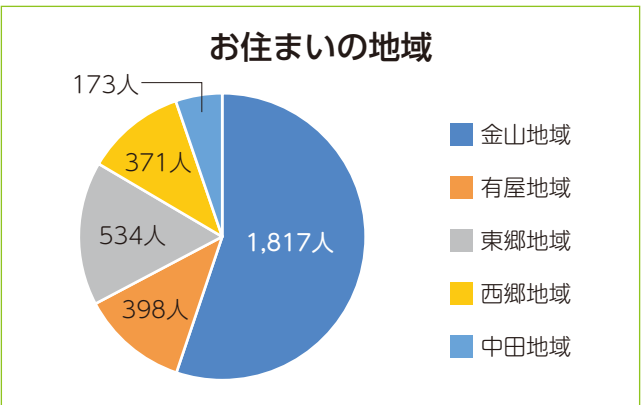
調査の概要

調査対象	20歳以上の町民（令和4年1月14日住民基本台帳） ※施設入所・入院等により記入困難な方等を除く	4,224人
調査期間	令和4年1月21日（金）～1月31日（月）	
配付方法	地区配布に併せ、20歳以上の町民のいる世帯に配布（一部郵送配布）	
回収方法	各地区ごとに回収（一部郵送回収）	
調査内容	・基本情報（居住地、性別、年齢、職業） ・公共施設の利用状況（診療所、中央公民館、グリーンバレー神室等） ・優先してほしい町の施策について ・今後の行政サービスへのご意見（自由記述）	
回答率	81.01%	※回答者数3,422人

[こちらからご覧ください➡](#)

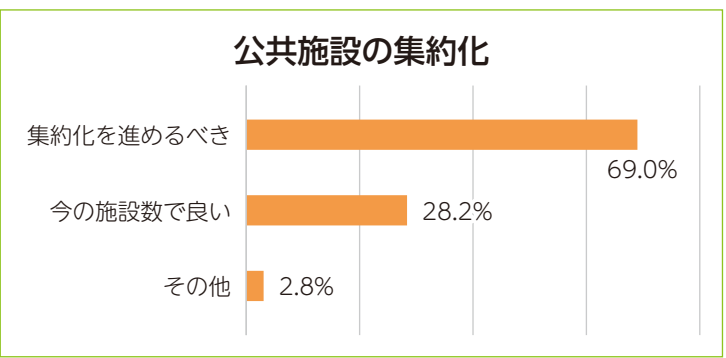


基本情報



Q.公共施設の集約化について

▼公共施設の集約化について
「集約化を進めるべき」と回答した方が約7割となりました。集会所等の公共施設を一体化することで、建設・維持管理費を抑制するだけでなく、より効率的な施設整備が求められます。学校統合も一つの集約化です。児童数に合わせた一つにし、施設が少なくなつた分、代わりに教育支援をより充実させることができます。



次頁に続きます

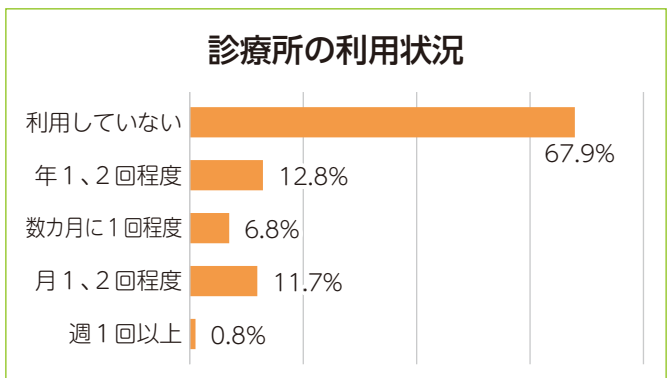
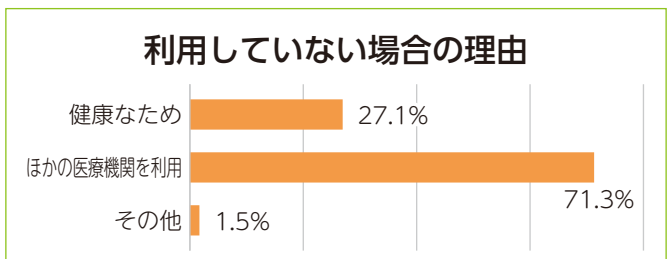
公共施設のあり方①【町立金山診療所／農村環境改善センター／中央公民館】

町では、今年度、町民の代表の方々や有識者による各検討委員会を立ち上げ、中央公民館機能の移転場所や移転に伴う跡地の利用方法、グリーンバレー神室一帯の運営方針などについて検討してきました。

ひとりでも多くの方に町の現状を知っていただくとともに、検討にあたり、各施設の利用状況や維持管理費などを踏まえた上で多くのご意見をいただき判断したいと考えています。

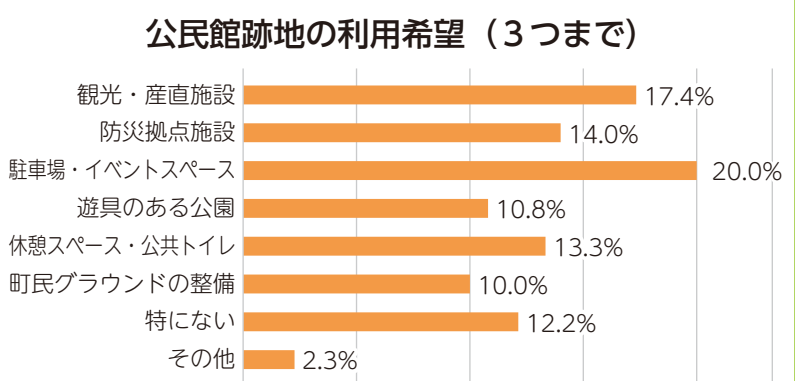
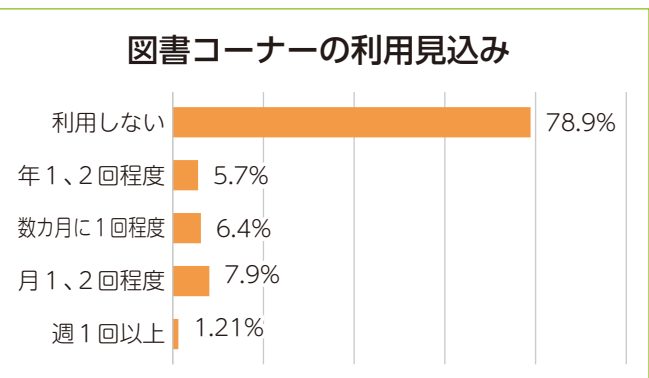
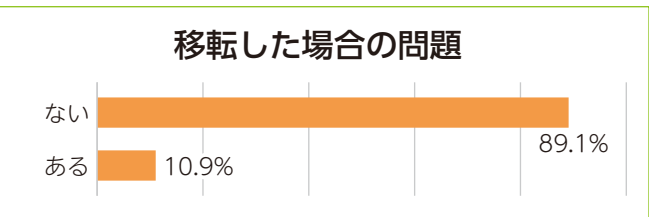
公共施設の集約化により、建設・維持管理費を抑制し、他の住民サービスの充実を図るため、町民の皆さんのご意見をお聞きしました。

Q.診療所について



▼町立金山診療所について
令和3年4月から無床化に移行しましたが、約7割の方が利用していないという回答結果となりました。他の医療機関を利用している方の約7割が、町外の医療機関を利用している一方で、自由記述では「なくさないでほしい」という声もあり、より利用していただきやすい診療体制が求められます。

Q.中央公民館機能を農村環境改善センターに移転する案について

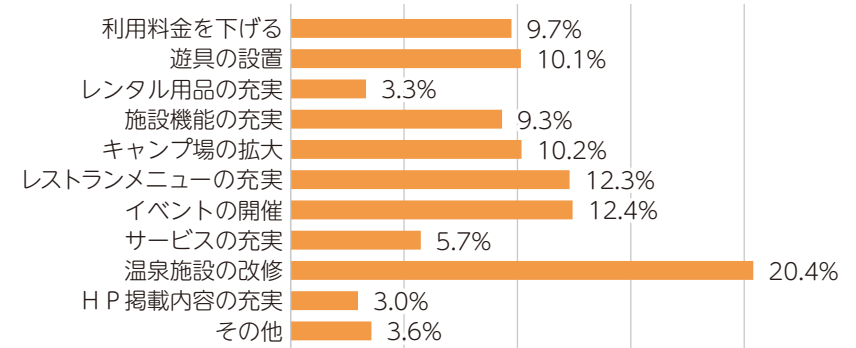


▼中央公民館機能を農村環境改善センターに移転することについて
約9割の方が、移転について「問題になることはない」と回答しており、よくし苑や子育て支援センターのほか、体育センターや診療所が隣接していることなどからも、移転への懸念は少ないと考えられます。また、図書コーナーを設置した場合の利用見込みについては、利用しないという方が約8割となった一方で、学習スペースの確保を希望する声もありました。なお、小・中学生については森のこども図書（交流サロンぽすと内）及び、各学校の図書室の充実を図り、本に親しむ習慣と学力向上につなげたいと考えています。

中央公民館を移転した場合の跡地の利用については、「駐車場・イベントスペース」という意見が最も多くなりました。自由記述では、小・中学生のバスの待合場所について心配する声もあり、4月から新たに始まったデマンド交通も含め、観光施設や休憩スペース・公共トイレなど、町民のニーズにあった利用方法について早急に検討する必要があります。

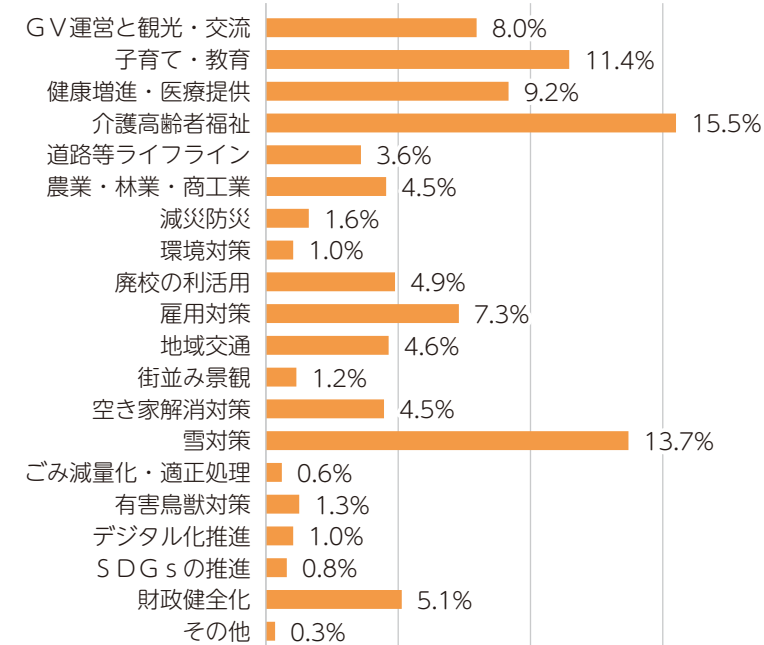
Q.グリーンバレー神室に望むサービス

どのようなサービスがあればもっと利用するか（3つまで）



町の施策への優先度

優先してほしいサービス（3つまで）



町民の皆さんのご意見をふまえて

今回のアンケート調査は、回答率が80%を超えており、まちづくりについて町民の関心度の高さが表れたものとなりました。

自由記述では、各公共施設のあり方に関するご意見のほか、身近な生活に関わる行政サービスについて、より安定した「住みやすさ」を重視するご意見が多くありました。

また「まちづくりへの情熱が感じられる行政運営」を求める意見など、町長、町職員、町議会議員への厳しいご指摘もありました。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、町民の皆さんが安心して金山町に住み続けられるよう、積極的に事業見直しを図りながら行財政の健全化に努めて参ります。

神室一帯の施設について、どのようなサービスがあればもっと利用するかという問については、「温泉施設の改修」という意見が最も多くなりました。施設の継続希望でも、「一部継続を望む施設」として最も多かったのが「ホットハウスカム口」であることなどからも、温泉施設への町民の関心は高いものと考えられます。

将来人口を見通し、今後の行政サービスの見直しを図るため、施策の優先度を聞きました。

▼町の施策への優先度
町の将来人口は、2040年までに約3500人程度になると推計されます。

行政サービスについては、「介護高齢者福祉」が最も優先度が高く、次いで「雪対策」「子育て・健康増進・医療提供」となりました。当然ながら、身近な生活に関わる福祉・除排雪等の施策への優先度が高い結果となりました。

高齢化の進む当町にとって、全ての町民が生涯活躍できる持続可能なまちづくりのためには、町民の「健康増進」は優先すべき施策であると考えています。そして「健康増進」は介護保険料や医療費などを減少させる鍵となるものと考えます。

また、子育て・教育分野においては、加速する少子化に対応しながら、一人ひとりがより充実したサービスを受けられるよう、ICT教育の充実など時代に合った教育環境整備に努めていきます。

令和4年度一般会計当初予算では、福祉サービスや除排雪経費、子育て支援など、安心安全のために不可欠な行政サービスを優先的に確保し、町民の皆さんの実感が伴う改善を図っていきます。

公共施設のあり方②

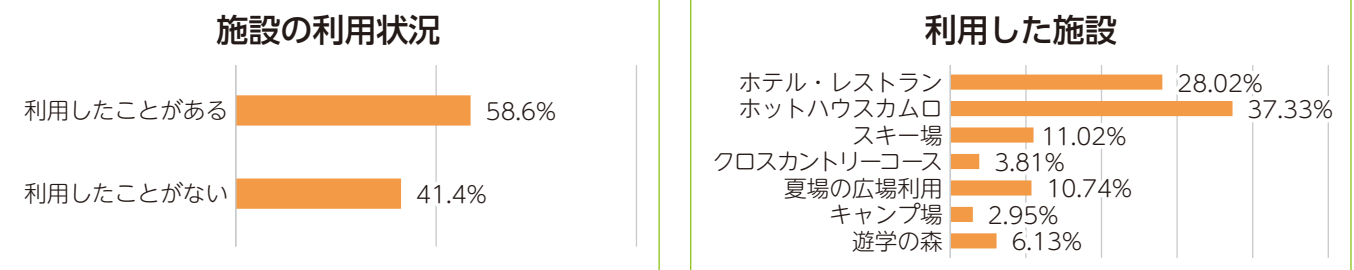
【グリーンバレー神室】

まちづくり緊急アンケート結果

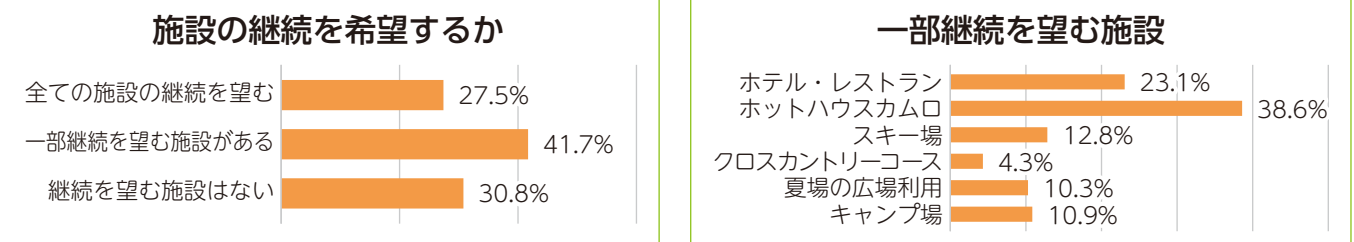
平成元年に神室スキー場、平成4年にホットハウスカム口、平成10年にはホテルシェーネスハイム金山を開業し、町ではこの一帯を「グリーンバレー神室」として整備してきました。観光の中心地として、町内外の多くの皆さんから親しまれている一方で、当町を含めた近隣市町村の人口減少や、新型コロナウイルス感染症拡大も影響し、各施設の利用者数は減少傾向にあります。

各施設の利用状況や今後の施設維持について、町民の皆さんのご意見を聞きました。

Q.グリーンバレー神室一帯施設の利用状況について



Q.グリーンバレー神室一帯の施設のあり方について



▼公共施設の在り方について
今後のグリーンバレー神室一帯の施設継続については「一部継続を望む施設がある」と回答した方が最も多く、継続を望む施設としては、ホットハウス、次いでホテル・レストラン、スキー場の順となりました。

また、「全ての施設の継続を望む」と回答した方が20代で多くなった一方で、他の年代では「継続を望む施設はない」と回答した方が「全ての施設の継続を望む」を上回っています。

また、施設の利用の有無別の継続希望では、施設を利用したことがある方で「継続を望む施設はない」と回答した方が、「全ての施設の継続を望む」と回答した方を上回っています。

こうした町民ニーズを踏まえ、他の行政サービスを安定的に提供するためにも、グリーンバレー神室一帯のあり方について、早期の運営方針決定に向けて検討していきます。

